



森のクマさん
(改・超短)



森野イブキ

森のクマさん

ある森の中で。

村人「ある～日、森の中～クマさんに～出会あった～♪」

猟師「ど、どこや。クマが出たのは？」

村人「これは猟師さん。いえ、どこにもいないですよ。ただ歌っていただけです」
キョトンとする、村人。

一方で、真剣な表情の猟師。

猟師「いや、わしのカンではこの辺りにおる！間違いない。長年の猟師のカンや！」

村人は、いかにもバカにしたような、顔つきだ。

村人「ほお」

猟師「・・・・・・・・隠さんでいい。見たやろ？」

村人は猟師の顔をまじまじとのぞき込む。

村人「えっと・・・・・・・・た、確かに」

猟師「ど、どこや！」

村人「あんたの目の下に、ほら！」

一瞬、ポカンとする猟師。

猟師「・・・・・・・・？ ああ、これこれ・・・・・・・・って、クマ違いじゃないか、それは！」

村人「クマだけに、クマったね、なんてね！」

二人の間を、氷点下の冷気が通り過ぎる。

猟師「・・・・・・・・ごっつ、寒っ！！・・・・・・・・って、なんでやねん！！」

（お馬鹿に終わる！！ いやあ、クマだけに、クマったネタだねえ。

・・・・・・・・もおええわい！）

森のクマさん（改・超短編）

<http://p.booklog.jp/book/50145>

著者：森野イブキ

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/morinoibuki2012/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/50145>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/50145>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパー（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社paperboy&co.